

2022「PAS Third」

久大線を盛り上げるには ～地元の駅を守ろう～

3年1組29番山崎 誠人
(吉田俊ゼミ)

I. テーマ設定の動機

私は将来鉄道会社に就職を考えている。その中で BRT に転換が決まった日田彦山線や駅の無人化が進んでいる久大線を見ると自分が本当に鉄道会社に就職できるのか不安になってきた。なので、自分で今から久大線の課題や問題点を調べて、久大線をもっと盛り上げられるようにしようと思った。そして、鉄道の投資、街の経済発展や、経営コストなどを学びたいと思った。

II. 仮説または研究の目的

日田に皆が理想とする観光地や仕事を誘致する。また日田に降りてもらえるように需要を作り、宣伝する。さらに久大線の沿線や鉄道を軸にツアーを実施する。これらを実施すれば鉄道が好きな方も集まるだろうし、自然に鉄道利用者や駅利用者数を増やせると思った。

III. 調査・研究の方法

- 1 校内アンケート 高校生の鉄道への意識調査
- 2 久大線への乗車 現状確認、課題発見
- 3 駅の視察 現状確認、課題発見
- 4 JR 日田駅の方へのインタビュー 現場の方からの意見
- 5 調べ学習 現状認識と他の線路の調査

IV. 調査結果

1 校内アンケート結果(回答数 40)

質問	回答
久大線を利用したことがあるか(通学除く)	ある:6 ない:34
(1.で「ある」と答えた人に)利用した目的	旅行:0 買い物:4 観光:0 その他:2
普段どのような交通手段で移動するか	自家用車:34 バス:2 自転車等:4

2 久大線(日田～由布院)乗車

由布院付近の前面展望



8月12日12時33分日田駅発大分行き普通列車に乗車して車内の様子を観察してみた。予想していたよりも若者がいて、老若男女の乗客が見られた。前面展望を見ると風景が代り映えせず退屈だ。何か変化をつける工夫が欲しいところだ。

3 駅の視察

久大線の各駅を視察した。日田～由布院間の12駅中、半数以上の7駅が無人駅であった。そのうち野矢、引治、杉河内の各駅がいわゆる秘境駅で管理が行き届いていなかった。北山田駅は敷地に活用の余地があるのではないかと感じを受けた。

4 JR 日田駅長今田様インタビュー

Q1 久大線をどのように管理していくのか？

A1 利用者がある以上、お客様に不便をかけられない。人手不足を補うためにIT技術を取り入れる等考えたい。

Q2 無人駅にする基準は何か？

A2 経営面に直結することなので詳しくは説明できないが、乗車人員と駅員の人件費が比例しなくなったときに無人駅化することになると思う。

Q3 無人駅の管理は誰がしているのか？

A3 駅舎の維持管理やその費用負担は各自治体が行っている。清掃作業などは、JR九州サービスサポート(JR九州の子会社)の日豊本線担当が行っている。

Q4 どのように久大線を盛り上げるべきなのか？

A4 コロナが蔓延したことによりオンラインが活用されるようになり、より一層ローカル線の方に興味を持ってくれたり、リモートワークが増えたことで投資をしてくれる人が多くなった。体験型ツアーが人気だ(例、フルーツ狩り切符、忘年ツアーなど)。ツアーを企画するときにはターゲットを絞ること(例:お酒が好きな方には、お酒巡りのツアー。フルーツが好きな方には、フルーツを軸にしたツアーを実施するなど)がポイントだ。

また、いかに駅での思い出をお客様に持ってもらえるかも重要だ

Q5 鉄道を軸にしたツアーを開いてはどうか？

A5 鉄道ファンをターゲットにしても鉄道ファンは自分で鉄道に乗るので鉄道ファン以外の方にいかに鉄道に乗ってもらうかが重要だ。

5 調べ学習

久大線の主要駅利用者数(2021年)人/日

・日田:528 ・由布院:433 ・豊後森:約100

観光客誘致の成功例

和歌山電気鉄道の貴志駅では売店で飼われているうちに招き猫的位置付けのアイドルとなった雌の三毛猫を「たま駅長」と名づけ、やがて正式な「駅長」に任命し、世界的に知られるまでになる。



たま駅長は乗客数の増加と観光へのアピールの功績から「スーパー駅長」(後に「ウルトラ駅長」に昇進) および「和歌山電鉄道社長代理」の肩書きをもらうこととなる。

空前の猫ブームが招来され、社会現象となった。鉄道が町の誇りになっていた。

V. 分析と考察

～調査結果からの分析～

校内アンケートを読むと宣伝をした方が良いという意見が目立った。しかし今の久大線沿線には宣伝する素材が少ない。また確認するとやはり若者の利用率があまり多くない。しかし私が実際に久大線に乗車して調査した際には思ったよりも若者が利用していた。高齢者も一定数乗っていた。

車窓からの景色は路線の魅力のひとつだが、久大線の場合、前面車窓からの景色が代わり映えしないように感じる。沿線には魅力を感じる施設が少ない。

～ツアー企画の提案～

久大線を軸にしたツアーを考えてみた

- ① 久留米駅出発、田主丸駅途中下車の観光
- ② うきは駅途中下車(道の駅に寄る)
- ③ 夜明駅途中下車(日田彦山線の説明とBRTに乗る)

- ④ 日田駅途中下車(観光)
- ⑤ 天ヶ瀬駅途中下車(温泉等の利用)
- ⑥ 杉河内駅途中下車(秘境駅巡り)
- ⑦ 北山田駅途中下車(売店の跡地で食事)
- ⑧ 豊後森駅途中下車(機関庫の観光)
- ⑨ 引治駅途中下車(秘境駅巡り)
- ⑩ 野矢駅途中下車(秘境駅巡り)
- ⑪ 湯布院終点

これを鉄道系ユーザーなどに宣伝してもらってはどうか。

～観光客誘致について～

猫を駅長にしたり、猫に限らず動物を使って観光客を集めることは以前には行われていなかった。和歌山電気鉄道はそれまで行われていなかった活動をしたことで観光の名所を創り出した。後にはたま駅長に会う事だけが目的で列車を利用してくれる人まで現れた。

久大線に観光客を集め、また特に若年層の利用者を増やして路線維持につなげるためには、何かこれまでにはない需要を作ること(例:鉄道の駅に道の駅を併設する。沿線に花を植えたりして沿線そのものを観光地にする。)や、日田市に若者が魅力を感じる仕事を誘致、創出することが必要と考えた。

VI. 問題点や疑問点

建設的な答えを出すことができなかった。また、何をすれば観光客が増えるかという明確な答えを出すことができなかった。もう少し深いところまで研究したかった。

VII. 感想

今の状況では久大線を盛り上げるどころか現状維持がやっとである。難しいことだがお金をかけないとお金を儲けることはできないと思った。これを念頭に行政や住民で活動できたらと思う。

VIII. 参考文献

<https://www.810.co.jp/hon/ISBN978-4-89295-638-6.html>

<https://ja.wikipedia.org/wiki/たま>

